

『明るく豊かで健やかな防府』の実現

輝き！ほうふプラン

第6次防府市総合計画 2026 >> 2030

【概要版】

素案

（パブリックコメント用）





《 基本目標 》

「 明るく豊かで健やかな防府 」の実現

〈 第6次総合計画の目指す姿 〉

第6次総合計画の基本的な考え方

「輝き！ほうふプラン」は、「明るく豊かで健やかな防府」の実現を目指し、本市の10年後（2030年）の姿を示した計画です。

変化の速い時代に対応し、実行性のある計画とするため、2021年度（令和3年度）から2025年度（令和7年度）までの最初の5年間に第5次総合計画として実施してきました。

第6次総合計画は、第5次総合計画の成果などを踏まえつつ、本市の未来を見据え、新たに取り組む事業を加え、今後の5年間に実施する事業を具体的に示したものです。



第6次総合計画の展開

市制90周年の年にスタートする第6次総合計画は、6つの重点プロジェクトを引き続き進めていくとともに、市制100周年に向け、周辺自治体とも連携しながら、今後の県央地域の発展をけん引する都市を目指します。

市民の皆様には「防府に住んで良かった、防府に来て良かった、防府が一番だ」と思ってもらえるまちづくりを進めます。

■ 「明るく豊かで健やかな防府」の実現に向けた指標

総合計画を推進するためには、目標を明確にし、取組の状況を正しく評価することが重要です。

このため、計画の達成状況を総合的に評価する目標指標としてKGI（重要目標達成指標：Key Goal Indicator）を設定します。また、KGIを達成するための過程を管理するKPI（重要業績評価指標：Key Performance Indicator）を「重点プロジェクト」に設定します。

総合的な目標指標（KGI）

社会増の継続（累計）

プラス転入人口の維持（R8～R12）

人口減少率の縮小

人口の将来予想

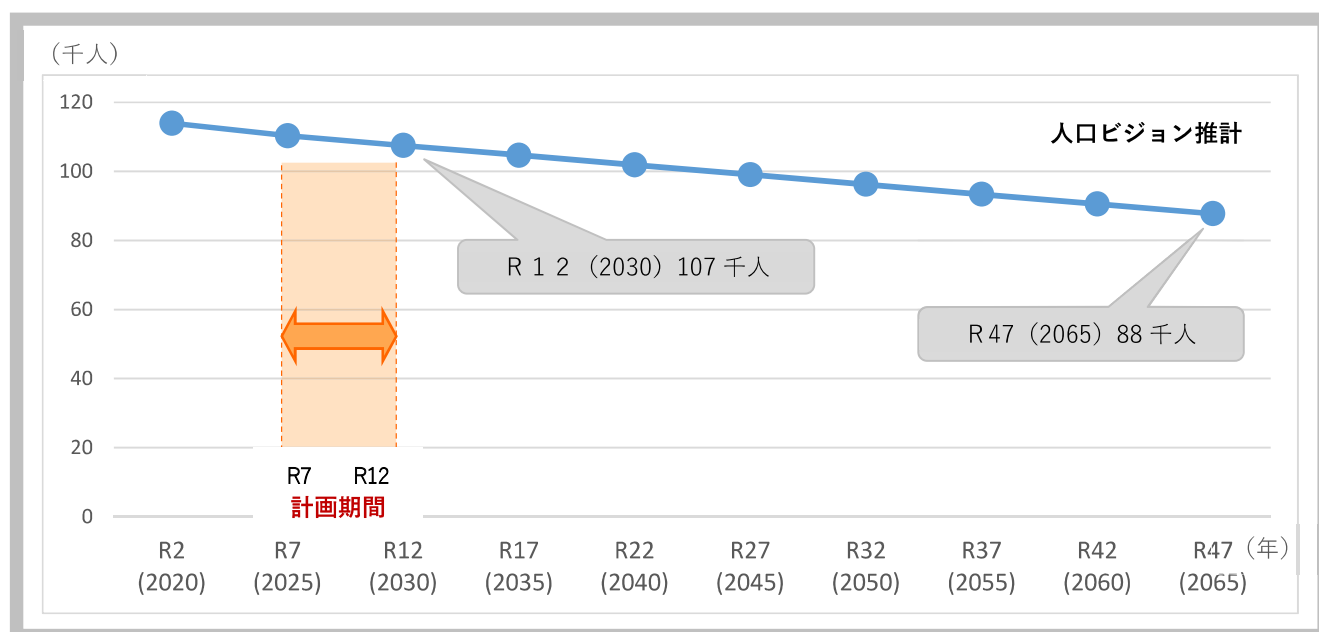
令和6年（2024年）に厚生労働省から公表された出生数は68万6千人であり、国立社会保障・人口問題研究所が推計していた「2043年に70万人を下回る」という見通しよりも、大幅に早いペースで出生数の減少が進んでいます。

防府市人口ビジョンでは、「住みたくなるまちづくり」を進め、社会増の継続により将来にわたって人口8万8千人を維持することを目指しています。

このことを踏まえ、第6次総合計画では、計画期間の最終年である令和12年（2030年）に人口10万7千人以上を維持することを目標とし、各種施策を展開します。

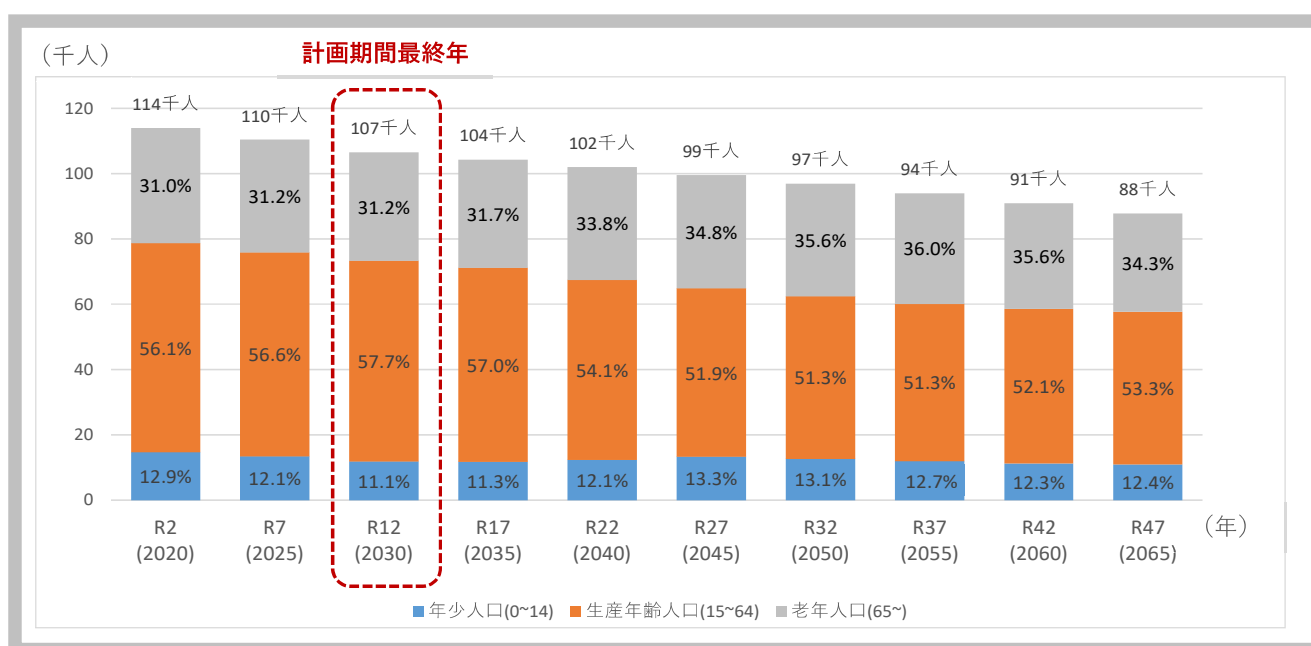
また、計画最終年における年齢構成比については、年少人口（0歳～14歳）を11.1%、生産年齢人口（15歳～64歳）を57.7%、老年人口（65歳以上）を31.2%と想定しています。

■人口推計



出典：防府市人口ビジョン

■年齢3区分別人口構成比



出典：防府市人口ビジョン

これからの5年（2026年～2030年） 2030年に向けてまちづくりを進めます！

防府のまちづくりを進めることで、
「明るく豊かで健やかな防府」が実現します。

- 第6次総合計画の新たな事業
- 第5次総合計画からの継続事業
- 第5次総合計画で完了した事業



- 市全体に広がる取組—
- ICTを活用した教育の推進により学習意欲が向上！
 - こどもを守る安全・安心対策の実施
 - 公民館で「できること」が更に拡大
 - 新たな企業の誕生による商工業の活性化
 - 農福連携の促進
 - 効果的な情報発信によるインバウンドの増加
 - UJIターナー者の増加若者定住応援



1 安全・安心を第一にしたまちづくり

(1) 安全・安心の基盤づくり

① 安全・安心の行政ゾーンが完成します。

- ☞ 防府警察署の市役所敷地内への移転・建替えにより、行政ゾーンが完成します。
- ☞ 山口県防府土木建築事務所や山口県防府保健所、防府市社会福祉協議会などとの強固な連携により、迅速な災害対応を行います。

② 防災ネットワークを築きます。

- ☞ 広域防災広場を整備し、隣接する県立総合医療センターと一体となった防災・医療の広域拠点を築きます。
- ☞ 防災広場や幹線道路沿いに防災備蓄倉庫を整備します。
- ☞ まちなかの避難場所となる、(仮)公会堂北防災広場を整備します。

避難所となる小・中学校体育館への
エアコンの一斉整備

③ 暮らしを守る防災対策を進めます。

- ☞ 国・県・市が一体となって進めてきた河川の改修・浚^{しゅん}せつ、道路施設と雨水排水施設の長寿命化対策、ため池の改修などを引き続き実施します。
- ☞ 能登半島地震を踏まえ、安定的に給水・排水ができるように、上下水道管路などの耐震化を計画的に実施します。
- ☞ 海岸保全施設の長寿命化を図るため、中関地区の大浜海岸の護岸整備などを進めます。

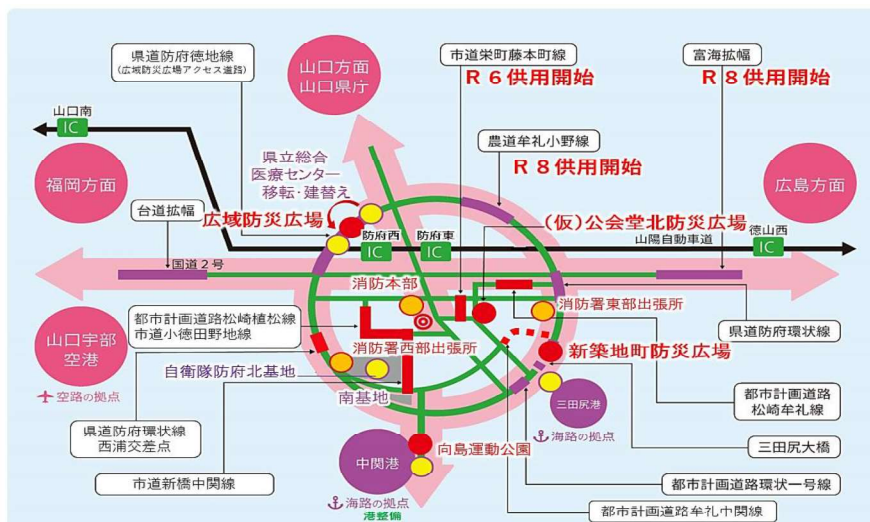


④ 災害などに迅速に対応します。

- ☞ 防府市、山口市、萩市の3市による共同運用を開始した通信指令業務により、多様化する災害に迅速に対応します。
- ☞ 救助工作車、消防ポンプ自動車などの消防車両をはじめ、近年の災害などを踏まえた最新の装備品や資機材を計画的に整備・更新をします。

⑤ 防災ネットワークを支える道路網を構築します。

国・県・市が連携し、防災拠点や県立総合医療センターなどをつなぐ道路網「防府・未来へのネットワーク」を構築します。



(2) 激甚化する災害などへの取組

① 線状降水帯などによる豪雨災害に備えます。

- ☞ 下関地方気象台などと連携し、市民の迅速な避難行動につなげます。
- ☞ 防災行政無線、防災ラジオ、メール、データ放送などにより、的確な避難情報を発信します。
- ☞ 75歳以上の高齢者世帯に加え、土砂災害警戒区域内の世帯に、防災ラジオを無償配付します。

② 南海トラフ地震などによる大規模災害に備えます。

- ☞ 地震による津波が到達するまでの間に全ての方が避難できるよう対策を講じます。
- ☞ 防災倉庫やマンホールトイレ、防災井戸などを広域防災広場や（仮）公会堂北防災広場に整備します。
- ☞ トイレトレーラーの配備、非常食や簡易ベッド、パーティションなどの備蓄物資の確保を行います。

③ 熱中症対策を進めます。

- ☞ 全ての小・中学校の体育館にエアコンを一斉に整備します。
- ☞ メールやデータ放送、広報車両などによる注意喚起を行います。
- ☞ 市内全域に涼み処を開設します。
- ☞ 小・中学生、みまもり隊に熱中症対策用冷感タオルを支給します。
- ☞ 介護支援専門員などや緊急通報装置の活用により高齢者への直接的な声掛けを実施します。
- ☞ 高齢者などの熱中症への警戒を一段と高めるため、わかりやすい基準を設け、注意喚起を行います。
- ☞ 防府市で暑さ指数※1が35以上になると予測される場合には、小・中学校を臨時休業し、市主催のイベント・行事などを原則中止します。

※1 暑さ指数…人体と外気との熱のやりとり(熱収支)に着目し、気温、湿度、日射、幅射、風の要素を基に算出する指数

(3) 市民・地域と進める防災力・減災力の強化

① 防災文化を育みます。

- ☞ 消防団や防災士など連絡協議会と一体となった地域ぐるみの防災訓練を実施します。
- ☞ 防災士などを対象とした防災リーダー研修会や女性向けセミナーを実施し、地域防災を担う多様な人材を育成します。
- ☞ 学校と地域が連携した防災教育を進めます。
- ☞ 市独自の「こども防災士」を養成し、こどもから大人への防災意識の波及を図ります。
- ☞ 自主防災組織が行う研修会や訓練などの防災活動、防災資機材の整備を支援します。
- ☞ 自衛隊や警察と連携し、火災や豪雨などの様々な災害を想定した実践的な訓練を実施します。

② 消防団活動を支援します。

- ☞ 地域の防災力強化のため、引き続き、処遇の改善に取り組むなど、消防団員の確保に努めます。
- ☞ 消防団員の活動研修を充実させ、資質の向上・活性化に努めます。
- ☞ 消防団消防器庫や装備品、資機材を計画的に整備します。
- ☞ 消防団員の技能を高めるため、山口県消防操法大会に向けた訓練を実施します。





2 未来を拓くこどもの育成

(1) こどもが健やかに育つ環境づくり

① こどもの健やかな成長のための切れ目ない支援を行います。

☞ こどもが健やかに育つことができるよう、妊娠前から出産、子育てまで切れ目なく支援します。

② こども一人ひとりに寄り添った支援を行います。

☞ 親が安心して子育てができ、こどもが健やかに成長できるよう、こども家庭センターを中心に、保健師、助産師、保育士などの専門職が相談を受け、しっかりサポートします。



③ 「行きたくなる遊び場づくり」を進めます。

☞ こどもが楽しく利用できる遊び場を提供します。
☞ 公園などへの遊具の設置に加え、定期的な点検を行い、安全・安心の確保に努めます。
☞ 「2050年の森づくり」プロジェクトとして、大平山の木材を使用した遊具を大平山に設置します。

(2) 教育のまち日本一の学びづくり

① 「行きたくなる学校づくり」を進めます。

☞ 安全・安心で快適な学校づくりを推進します。
☞ 楽しい授業づくりを進め、「わかる」「できる」を増やします。
☞ 地域と連携し、魅力ある学校行事を充実させます。
☞ こどもが楽しみにする給食に、新たに「デザートの日」を設けます。

② ICT環境を活かした教育で、学びを深化させます。

☞ 全国に先駆けて小・中学生に一齐に配備したタブレット端末を活用し、「つながる・広がる・深まる『防府スタイルの学び』」を充実させます。
☞ 生成AIを活用した授業を展開し、主体的・対話的で深い学びを実現させます。

③ エアコンを学校体育館に整備します。

☞ 熱中症対策として、全ての小・中学校の体育館にエアコンを一齐に整備します。(再掲)
※普通教室へのエアコン整備は、令和元年度に一齐整備済み

④ 安全で良好な学習環境などを整備します。

- ☞ 学校施設の長寿命化工事や LED 化を計画的に実施します。
- ☞ 民間施設も活用し、専門的な指導を受けられる水泳授業に取り組みます。

⑤ ほうふっ子の学びを広げます。

- ☞ 次世代のリーダーを育成する「ほうふみらい塾」を実施します。
※希望する全てのこどもが参加できるよう、活動内容を児童生徒にタブレット端末で配信
- ☞ 富海小・中学校での英語教育など、特色ある学びを推進します。
- ☞ 姉妹都市であるモンロー市（米国）に、中・高校生を語学研修として派遣します。
- ☞ 野島の自然を活かした、茜島シーサイドスクールの活性化に取り組みます。
- ☞ こどもの様々な活動の成果を発揮・発表する機会を提供します。

（ 〈スポーツ〉 防府カップ、セルビア杯バレーボール大会
〈文化〉 ほうふ GENKI コンサート、学ぼうやギャラリー
〈科学〉 ニコラ・テスラ大賞表彰 など ）

⑥ 防府の歴史文化を学び・受け継ぐこどもを応援します。

- ☞ 伝統芸能などの伝承活動の成果を発表する「こども文化祭」を開催します。
- ☞ 無形民俗文化財を次世代へ伝えるための取組を支援します。
- ☞ 「防府歴史・文化財読本」などを活用し、ふるさと防府に対する誇りと愛着を育みます。

⑦ 小・中学生のスポーツや文化活動を応援します。

- ☞ 「スポーツのまち防府」、「音楽のまち防府」として、スポーツや文化活動などをがんばるこどもを応援します。
- ☞ マイクロバスによる送迎など、地域クラブ活動が更に充実するよう支援します。
- ☞ ソラールをはじめ文化施設などの小・中学生の入館料を無料にします。

⑧ ふるさと防府の企業の魅力を伝えます。

- ☞ 社会見学などの校外学習や「ほうふみらい塾」において、市内企業を訪問します。
- ☞ 市内企業の魅力を紹介するため、職場体験や「やまぐち未来のしごとフェスタ」などの体験イベントを開催します。
- ☞ 防府商工会議所と連携しながら「防府の見栄える企業説明会」などを開催し、市内企業の魅力を伝えます。

⑨ 「学びたい」を修学支援制度で応援します。

- ☞ 意欲と能力のある学生が学習機会を確保できるよう、国などの制度と併せて、奨学資金貸付制度により応援します。

(3) こどもを守る安全・安心対策の推進

① こどもの安全対策を進めます。

- ☞ 通園・通学路などの路肩の整備やカラー化、反射鏡や防護柵の設置などを行います。
- ☞ キッズゾーンやスクールゾーンの点検、補修などを実施します。
- ☞ 幼児などに、年間を通して交通安全教室を開催します。
- ☞ 「みまもり隊」の方に、ジャンパーや帽子、冷感タオルなどを支給します。
- ☞ 小学1年生へ児童用かばんのプレゼントや防犯ブザーを配付します。
- ☞ 小・中学校の通学路などに防犯灯・防犯カメラを設置します。

② こどもの居場所を確保します。

- ☞ 希望する小学3年生までの児童を確実に放課後児童クラブで受け入れます。
- ☞ こどもが学習や体験・交流活動を行う放課後子ども教室を実施します。
- ☞ 児童館（宮市、右田、牟礼、玉祖）など、小学生が安心して利用できる場所を提供します。
- ☞ ルルサス文化センターに、高校生などが学習するための専用の利用時間を設けます。
- ☞ こどものニーズに対応した、新たな活動場所を提供します。
- ☞ こども食堂や学習支援など、こどもが利用できる居場所づくりを支援します。





3 健やかな暮らしを支える福祉のまちづくり

(1) 元気に過ごせる保健・医療体制の充実

① 医療体制を充実します。

- ☞ 防府医師会など関係機関と連携し、医療や介護に従事する人材の確保を支援します。
- ☞ 県立総合医療センター（三次救急医療機関）がある強みを活かし、地域医療における初期（一次）・二次救急医療の充実を図ります。
 - ・ 休日診療所において内科夜間オンライン診療を実施します。
 - ・ 小児科の夜間診療を「山口・防府地域夜間こども急病センター」で実施します。
 - ・ マイナ保険証に記録された病歴などを活用し、救急対応の迅速化と円滑化を図ります。
- ※ 初期（一次）救急医療…比較的軽症な救急患者を対象とした救急医療
- ※ 二次救急医療…入院治療を必要とする重症の救急患者を対象とした救急医療
- ※ 三次救急医療…二次救急医療機関では対応できない重篤な救急患者を対象とした救急医療

② 元気な毎日を送るための健康づくりを進めます。

- ☞ 防府医師会・防府歯科医師会・防府薬剤師会、企業・団体などと連携し、がん検診や特定健診、歯科検診などの受診の促進や健診後の保健指導に取り組みます。
- ☞ 「幸せます健康まつり」や医師、保健師などの専門職による講演会や教室を通じ、食事・運動・休養の必要性を啓発します。
- ☞ 受動喫煙を防止するため、市有施設などにおける分煙施設の整備などに取り組みます。
- ☞ 桑山などの「高齢者健康の道」を誰もが気軽に歩けるよう整備します。

(2) 誰もが安心して暮らせる福祉の充実

① 福祉の総合相談・支援で安心を広げます。

- ☞ 市役所の本館2階（福祉部門）と福祉棟（山口県防府保健所、防府市社会福祉協議会）が一体となり、様々な相談に対応できる支援体制を充実します。
- ☞ 防府市成年後見センターを中心に、権利擁護支援や成年後見制度の周知・利用促進を図ります。

② 高齢者が安心して暮らせる支援・介護サービスを充実します。

- ☞ 高齢者などの外出機会の一層の拡大につながるよう、バス・タクシー運賃助成制度などを見直します。
- ☞ 地域住民の認知症に関する理解を促すため、各地域包括支援センターの認知症地域支援推進員による相談体制の充実・強化を図ります。
- ☞ 熱中症への配慮が必要な高齢者に対して、防府市社会福祉協議会などの関係団体と一体となって、地域ぐるみで見守りを行います。

③ 障害者の活躍を応援します。

- ☞防府市コミュニケーション条例に基づき、障害の特性に応じたコミュニケーション手段の理解と利用の促進を図るため、啓発活動や支援者の養成を行います。
- ☞防府市手話言語条例に基づき、手話に接する機会の提供や手話講習会の開催など、言語である手話に対する理解の促進、手話を使用しやすい環境の整備を図ります。
- ☞防府市農業公社などと協力し、土地利用型農業の「農福連携」に取り組みます。
- ☞市有施設における障害者等専用駐車場の利便性の向上を図ります。

④ 愛光園・大平園・なかよし園を建て替えます。

- ☞障害福祉施設（障害者就労支援施設の愛光園・障害者入所施設の大平園・障害児通所支援施設のなかよし園）を現在地で建て替えます。

⑤ ひきこもり支援ネットワークを強化します。

- ☞「ひきこもり地域支援センター」と「ひきこもり支援ステーション」の連携を強化し、ひきこもり支援の充実・強化に取り組みます。

（３）住み慣れた地域で暮らし続けるための環境整備

① 自治会活動などを支援します。

- ☞地域の環境美化活動や自治会館の建替えなど、自治会活動を支援します。
- ☞地域が抱える様々な課題の解決に向けた地域自治会連合会や自治会などの活動を支援します。
- ☞地域おこし協力隊や集落支援員制度などを活用し、地域活動を支援します。
- ☞将来にわたり自治会が地域の中核を担えるよう更なる活性化に向けて取り組みます。

② 防犯対策を強化します。

- ☞警察や防犯対策協議会などとの連携を強化し、様々な犯罪被害防止を目的とした啓発活動を行います。
- ☞公民館など、地域に出向き、最新の詐欺の手口や対応策などを周知します。
- ☞防犯上必要な場所に防犯カメラなどを設置します。

③ 地域の交通サービスの充実を図ります。

- ☞交通事業者と連携し、運転士不足対策に取り組みます。
- ☞タクシー事業者と一体となって、デマンドタクシーを運行するとともに、夜間タクシーの運行確保に努めます。
- ☞利便性の向上や暑さ対策のため、バスの待合環境を改善します。
- ☞地域が主体となって実施する移動サービスを支援します。
- ☞高齢者などの外出機会の一層の拡大につながるよう、バス・タクシー運賃助成制度などを見直します。（再掲）
- ☞幹線道路の整備などに伴うバス路線の再編を検討します。
- ☞野島の活性化につなげるため、離島航路を維持します。

④ 中関・大道・華浦公民館の移転・建替えを行います。

- ☞老朽化が進む中関公民館や交通安全の観点から大道公民館と華浦公民館の移転・建替えを行います。

⑤ 良質な市営住宅を整備します。

- ☞坂本住宅の建替え、富海住宅の基本設計を実施します。
- ☞防府市公営住宅等長寿命化計画を見直し、改修工事を計画的に実施します。
- ☞市営住宅の空き室の有効活用を図ります。

⑥ 空き家の解消に取り組みます。

- ☞周囲に影響を及ぼす空き家の早期の解体を促進します。
- ☞空き家、狭あい道路を一体的に解消します。
- ☞空き家バンクの活用により、売買などによる空き家の利活用を促進するとともに、UJIターンによる移住・定住や新規就農者・漁業者の定住を支援します。
- ☞空き家と空き家跡地の活用を促進します。

(4) 誰もがいきいきと活躍できる場づくり

① 市民の文化・スポーツ活動への参加を促進します。

- ☞防府市文化協会が中心となって開催する、邦楽、合唱の発表会や華道、盆栽展示会などの「市民文化祭」を支援します。
- ☞文化・芸術の発表の場となる市民ギャラリーの充実を図ります。
- ☞防府市スポーツ協会や防府市社会福祉協議会など一体となって、「ほうふスポーツフェスタ」をはじめ、「いきいきシルバーふれあいスポーツ大会」、「障害者体育大会」などを開催します。

② 市民とともに地域づくりを進めます。

- ☞地域、事業者、各種団体など様々な主体と協働し、地域づくりを推進します。
- ☞防府市市民活動支援センターが行う、学生などによる地域でのボランティア活動を促進します。

③ 男女共同参画を促進します。

- ☞育児休業取得率 100%を目指します。
- ☞育児休業取得促進などに取り組む企業を「ほうふ幸せます働き方推進企業」に認定します。
- ☞男女共同参画フォトコンテストを実施します。

(5) 環境に配慮した取組の推進

① 「CO₂削減ほうふ市民運動」を展開します。

- ☞「緑花祭」や「エコまつり」などで啓発活動を行います。
- ☞「花いっぱい運動花だんコンクール」、「緑化ポスターコンクール」、「緑のカーテンコンテスト」を実施し、「ほうふグリーンアワード」として表彰します。
- ☞アスピラートのカーボンニュートラルコーナーの充実を図ります。
- ☞防府商工会議所と連携し、脱炭素の取組を進める企業を応援します。
- ☞市民一斉清掃などにより、地域における環境美化の促進と衛生意識の高揚を図ります。
- ☞小・中学生を対象に、学校給食牛乳パックのリサイクルなどによるエコスクール事業や環境副読本の活用、専門機関と連携した環境教育を進めます。
- ☞2030年度（令和12年度）末までに、設置可能な市有施設の50%以上に太陽光発電設備を整備するとともに、市有施設の照明の100%LED化を目指します。

- ・設置可能な市有施設への太陽光発電設備整備 37%（R6年度末時点 20/54施設）
- ・市有施設の照明のLED化 74%（R6年度末時点）

② 省エネルギー化やリサイクルなど3R*₁に取り組みます。

☞クリーンセンターにおいて、先進的な廃棄物発電によるエネルギー回収に、引き続き、取り組みます。

・廃棄物発電量(令和6年度)

年間1,764万kWh(年間約4,400世帯分相当)

☞ごみの減量・資源の循環利用を図るため、県内初のプラスチック資源の一括回収を実施します。

☞レジ袋として活用できる指定ごみ袋を作成するなど、プラスチック廃棄を抑制します。

☞ごみ分別アプリなどを活用した適正な分別方法の普及啓発を行います。

☞し尿などと下水の共同処理化に向けた施設整備を行います。

※1 3R：発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）のこと。



③ 「2050年の森づくり」を進めます。

☞大平山の木材を利用し、こどもが遊びながら楽しく学べる場所となるよう「2050年の森づくり」に取り組みます。

☞森林環境譲与税などを活用し、毎年、遊具の整備に取り組みます。

☞大平山の木材を活用した「ものづくり体験」を実施します。





4 活力ある中心市街地の形成

(1) 魅力あるまちづくりの推進

① 安全・安心の行政ゾーンが完成します。

☞防府警察署の市役所敷地内への移転・建替えにより、行政ゾーンが完成します。(再掲)

② 駅周辺のにぎわいを更に高めます。

☞駅周辺のみずかぜ広場やてんじんぐち多目的広場などの魅力を高めます。

☞アスピラートの改修を行います。

☞文化・芸術の発表の場となる市民ギャラリーの充実を図ります。(再掲)

☞(仮)公会堂北防災広場を市民の憩いの場ともなるよう整備します。

③ 「表参道にぎわいプロジェクト」に取り組みます。

☞市道天神町協和線のアーケードを撤去し、舗装整備を行います。

☞タペストリー設置などの、景観整備を実施します。

表参道にぎわいプロジェクト



○市道天神町協和線道路整備「アーケード撤去」



○景観形成



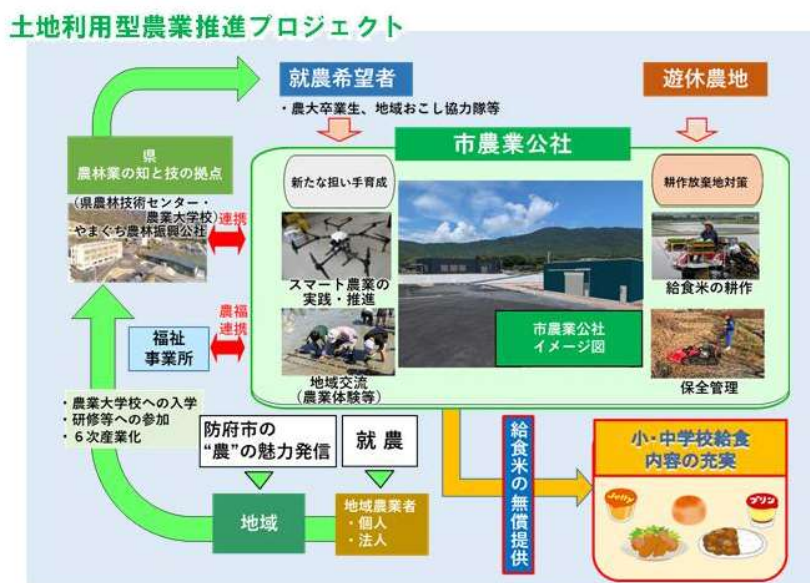
-街路灯への
タペストリーの設置



① 防府市農業公社を中心とし、「土地利用型農業推進プロジェクト」に取り組みます。

〈就農準備から定着までの伴走支援〉

- 防府市農業公社で耕作した米を学校給食へ提供します。



② ほ場整備を促進します。

③ 経営基盤を強化します。

☞ 担い手の定着を図るため、農業者の所得向上と安定経営に向けた、農地集約の促進や総合的な支援を行います。

④ 地域農業を支える取組を進めます。

- ☞ 農村の有する多面的機能の維持・発揮をするため、日本型直接支払制度の普及・促進をします。
- ☞ 農業用水を安定的に確保するため、ため池の改修などを実施します。

⑤ 「2050年の森づくり」を進めます。(再掲)

- ☞ 大平山の木材を利用し、こどもが遊びながら楽しく学べる場所となるよう「2050年の森づくり」に取り組みます。
- ☞ 森林環境譲与税などを活用しながら、毎年、遊具の整備に取り組みます。
- ☞ 大平山の木材を活用した「ものづくり体験」を開催します。

(2) せとうちの地魚を活かした水産業の振興

① 持続可能な漁業生産体制を強化します。

- ☞ 県や山口県漁協などと連携し、新規漁業就業者の確保や自立化へ向けた支援を実施します。
- ☞ 山口県漁協などと連携し、藻場の再生保全を図ります。
 - ・ ブルーカーボンの取組につながる魚礁の設置
 - ・ 海藻(草)類を食害するアイゴを食用として活用する「アイゴプロジェクト」
- ☞ キジハタやヒラメの種苗放流などにより、水産資源の維持・増大を図ります。
- ☞ 漁港施設の長寿命化や堤防などの老朽化対策などを実施します。

(3) 農業・水産業の拠点整備

① 「潮彩エリア活性化プロジェクト」に取り組みます。

- ☞ 水産市場隣接地に青果市場を移転し、水産市場・青果市場・潮彩市場が一体となった、一次産業の拠点を整備します。

潮彩エリア活性化プロジェクト



② 地産地消に取り組みます。

- ☞春菊や小松菜など地元農産物の消費拡大促進のため、朝市などを実施します。
- ☞「やまぐち農林業の知と技の拠点祭」や「ハモフェス」などを活かし、地産地消の意識を醸成します。
- ☞水産市場と連携し、ハモなどを活用しての地魚の消費拡大を促進します。
- ☞学校給食に防府市農業公社で耕作した米を提供するなど、地元食材を積極的に活用します。

(4) 強みを伸ばす産業基盤の強化

① 「防府・未来へのネットワーク」を構築します。

- ☞国道2号の拡幅や県道防府環状線などの基幹道路の整備促進により、交通インフラの充実に図ります。

② 重要港湾三田尻中関港の整備を促進します。

- ☞【三田尻地区】メバル公園の更なるにぎわいを創出します。
港周辺の施設の整備を促進します。
- ☞【中関地区】中関3号岸壁の延伸に向けて官民一体となって取り組みます。
民間企業など一体となったポートセールスを推進します。

③ 企業活動を応援する基盤整備を進めます。

- ☞国道2号台道・鑄銭司拡幅に合わせ、大道地区に産業団地を整備します。
- ☞県道防府環状線西浦交差点の渋滞対策を実施します。
- ☞市道四ノ楸三ノ楸線の整備を行います。

(5) 時代の波を乗り越える中小企業の振興

① 創業・事業承継を支援します。

- ☞中小企業サポートセンター（コネクト22）が中心となり、防府商工会議所、金融機関、やまぐちDX推進拠点（Y-BASE）など一体となって、創業者の伴走支援や創業セミナーを実施します。
- ☞山口県「事業承継・引継ぎ支援センター」などの関係機関と連携し、相談会を開催するなど企業に寄り添います。

② 生産性向上などを支援します。

- ☞Y-BASEなどと連携し、企業が行うデジタル化による業務の効率化や生産性の向上を支援します。
- ☞防府商工会議所、コネクト22と一体となって、様々な経営相談に対応します。
- ☞充実した融資制度により安定成長を支援します。

③ 経済環境の急変に対応します。

- ☞国・県と連携し、緊急対策を講じます。
- ☞防府商工会議所など一体となって、速やかにプロジェクトチームを設置し、対応策を講じます。
- ☞防府商工会議所と一体となって、地域経済の活性化に努めます。

④ 防府ブランドの売り込みを支援します。

- ☞ 地元産品に対する意識の醸成と積極的な活用を促進します。
- ☞ ふるさと納税を活用し、新たな地場産品の売り込みを強化します。

⑤ 人材の確保を支援します。

- ☞ 防府商工会議所と連携し、高校生などを対象とした「防府の見栄える企業説明会」や「やまぐち暮らし・しごと福岡支援センター」で企業説明会を実施します。
- ☞ 東京、大阪などの「移住交流フェア」で市内企業のPRを行います。
- ☞ 従業員の新たな資格取得や研修など、リスキリングによる人材定着に取り組む企業を支援します。
- ☞ 市営住宅の空き室の有効活用を図ります。(再掲)

女性・高齢者

- ☞ ルルサス文化センターやこども家庭センターに女性や高齢者向けの相談窓口を設置し、キャリアコンサルタントによる再就職支援を実施します。
- ☞ 山口しごとセンター、防府市シルバー人材センターなどと一体となって、高齢者の就労を支援します。

小・中学生

- ☞ 企業による日本語教育や事業所内の多言語表記などの環境整備を促進します。
- ☞ 防府商工会議所と一体となって、新たな育成就労制度を周知します。
- ☞ 企業や関係団体と連携し、外国人労働者が地域社会に円滑に順応できるように取り組みます。

外国人

- ☞ 小学生の社会見学や「ほうふみらい塾」において、企業訪問を実施し、市内企業のすばらしさを伝えます。
- ☞ 中学生を対象とした職場体験や「やまぐち未来のしごとフェスタ」など、体験イベントによる市内企業の魅力を発信します。
- ☞ ソラールに企業展示コーナーを設置し、市内企業の魅力を発信します。





6 恵まれた資源を活かした交流拡大

(1) 観光客数年間300万人（5年間1500万人）の実現

① 防府観光コンベンション協会など一体となって「すごいぞ！防府」4施設を中心とした観光振興を進めます。

- ☞「すごいぞ！防府」4施設の歴史的、文化的価値を全国に発信し、観光誘客につなげます。
- ☞新山口駅や山口宇部空港などの主要交通拠点を積極的に活用した情報発信に取り組みます。
- ☞「TWILIGHT EXPRESS 瑞風」の立ち寄りを活かし、既存メディア（テレビ、新聞、ラジオ）やSNSなど、様々な媒体を活用し、防府の魅力を発信します。
- ☞観光商品の造成や国内外への情報発信に取り組みます。
- ☞「すごいぞ！防府」4施設を舞台とした歴史観光講演会を開催します。

② 春・夏・秋・冬に魅力あるイベントを行います。

- ☞春夏秋冬に合わせた「幸せますフェスタ」などの多彩なイベントを実施します。
- ☞防府が誇る“もちまき文化”の魅力を更に広めます。
- ☞富海や野島、右田ヶ岳などの豊かな自然を活かした誘客に取り組みます。
- ☞山口県央連携都市圏域や近隣市町と一体となって、広域観光に取り組みます。

③ 山口デスティネーションキャンペーン（DC）などを本市への誘客につなげます。

- ☞山口DCを活かし、JRグループや県などと連携したプロモーションや旅行会社への売り込み強化、旅行商品の造成支援などに取り組みます。
- ☞防府天満宮御神忌1125年式年大祭の歴史的節目を契機として、「歴史のまち 防府」を広く発信します。
- ☞チャーター便の就航やクルーズ船の寄港を活かし、台湾や韓国など、東アジアを主なターゲットとしたインバウンド誘客に取り組みます。

④ おもてなし・受入環境を充実します。

- ☞タペストリー設置などの景観整備を実施します（再掲）
- ☞駅周辺のみずかせ広場やてんじんぐち多目的広場などの魅力を高めます。（再掲）
- ☞インバウンド客へのおもてなしとして、案内看板やパンフレットなどの観光案内の多言語化に取り組みます。
- ☞文化財を次世代に継承するため、整備・保存に取り組みます。

(2) スポーツ・文化による交流の推進

① 防府読売マラソン大会を全国に発信します。

- ☞ 防府読売マラソン大会を、G1 レースシーズンの幕開けにふさわしい大会として開催します。
- ☞ 防府読売マラソン大会出場選手も参加する、佐波川ロード記録会を開催します。

② 競輪場を活かし交流を推進します。

- ☞ 魅力あるレースを誘致します。
- ☞ 競輪場を活かして、サイクルスポーツを振興します。
- ☞ 競輪場を舞台として、こどもに愛されるイベントを開催します。
- ☞ 自転車を活かしたまちづくりを進めます。



③ スポーツゾーンを活かし交流を促進します。

- ☞ 防府市スポーツ協会や防府市社会福祉協議会など一体となって、「ほうふスポーツフェスタ」をはじめ、「いきいきシルバーふれあいスポーツ大会」、「障害者体育大会」などを開催します。(再掲)
- ☞ 「防府カップ」、「セルビア杯バレーボール大会」などの中学生が活躍する大会を開催します。
- ☞ 「スポーツのまち防府」として、野球場（こどもたちの甲子園）、ソルトアリーナなどに全国規模の大会を誘致します。
- ☞ 陸上競技、バレーボールなど、実業団や学生のスポーツ合宿を積極的に誘致します。

④ 文化施設などを活かし交流を促進します。

- ☞ 音楽のまち創造プロデューサーによる「防府音楽祭」(ニューイヤーコンサートなど)を開催します。
- ☞ 公会堂やアスピラートを舞台として、質の高い音楽や芸術を提供します。
- ☞ 「ほうふ GENKI コンサート」などを開催します。
- ☞ ソラールにおいて、魅力ある科学展や体験型の企画展を開催します。
- ☞ 開館10周年(令和9年)を迎える山頭火ふるさと館において、魅力あるイベントを開催します。
- ☞ 英雲荘において、観月会を開催します。
- ☞ 三田尻塩田記念産業公園において、塩田まつりを開催します。
- ☞ ソラールをはじめ文化施設などの小・中学生の入館料を無料にします。(再掲)
- ☞ 笑い講(小俣八幡宮)や占手神事(玉祖神社)などの伝統行事の魅力を広く発信します。

⑤ 姉妹都市などとの交流を促進します。

【広島県 安芸高田市】

☞毛利家ゆかりの歴史を活かし、文化・スポーツなどを通じた市民交流を行います。

【大韓民国 春川市】

☞日韓親善文化交流芸術展などの民間交流の促進やこどもが主役となる文化交流などを行います。

【アメリカ合衆国 モンロー市】

☞青少年語学研修のためのホームステイ派遣など、相互交流を行います。

<熊本県 長洲町>

☞長洲町の名産「金魚」で始まった交流を継承します。

<台湾>

☞上山満之進翁と絵画「東台湾臨海道路」をきっかけに始まった、民間主体の文化・経済交流を促進します。

<セルビア共和国>

☞東京オリンピックのホストタウンとしての交流を、「セルビア給食」や「ニコラ・テスラ大賞表彰」、「セルビア杯バレーボール大会」として継承します。

⑥ スポーツ・文化施設の環境を整備します。

☞スポーツ・文化施設の照明のLED化やアスピラートの舞台装置などの改修などを行います。

☞市制100周年に向け、文化・スポーツ施設の改修などを検討します。

(3) 防府ファンの創出・拡大

① 防府ファンを増やします。

☞市民に誇りと愛着を持ってもらえる「まちづくり」を進めます。

☞観光客に防府ファンとなってもらえるよう、おもてなし・受入環境を充実します。

☞「歴史のまち防府」の魅力や旬な情報を発信し、防府ファンを増やします。

☞ふるさと納税を通じて本市の魅力を発信し、防府ファンにつなげます。

※防府ファンとは、地域と多様に関わり、防府のことが好きな人々を指す言葉

② UJI ターンを促進します。

☞東京圏などから本市へ移住し、就業、創業する人を支援します。

☞国や県、J A 山口県などの関係機関と連携し、移住・就業などを促進します。

☞「やまぐち暮らし・しごと支援センター」と一体となって、移住相談を実施します。

☞「やまぐち暮らし・しごと福岡支援センター」で、学生に向けた企業相談会を実施します。

☞「さぁ！防府へ」の移住パンフレットを活用し、防府の住みよさ、魅力をしっかりと伝えます。

☞移住相談者一人ひとりに寄り添ったサポートを提供します。

チャレンジ！地方創生

～地方をリードする

●土地利用型農業推進プロジェクト

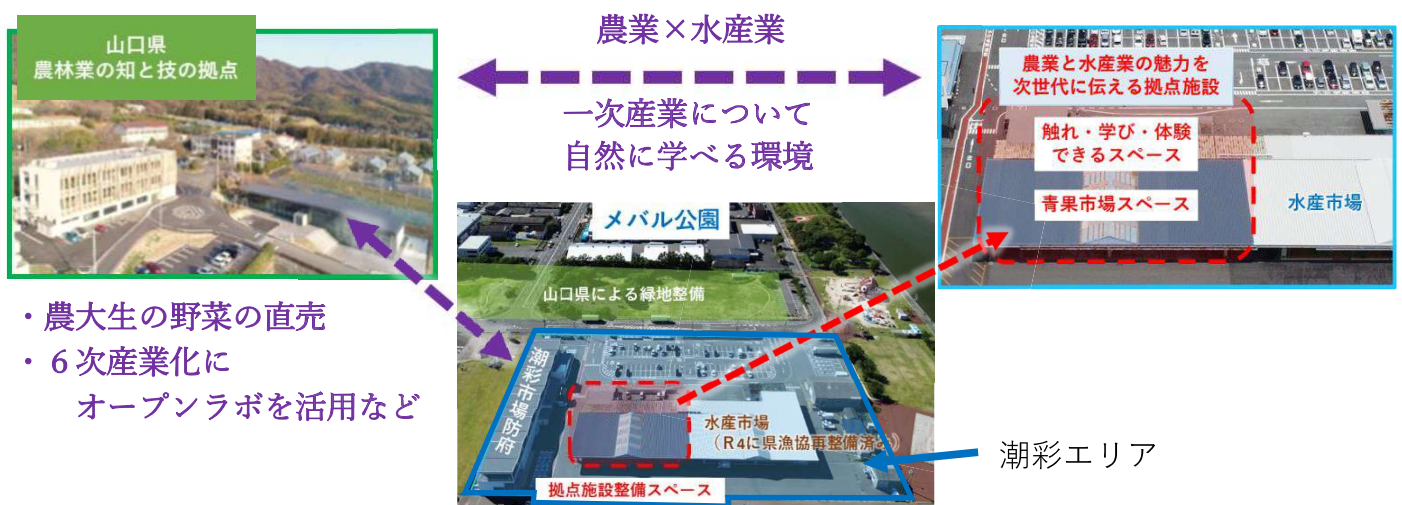
防府市農業公社において、山口県「農林業の知と技の拠点」と連携した担い手育成や耕作放棄地対策につながる土地利用型農業を推進します。耕作した米は、学校給食へ提供します。



項目	R3~R7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	R 13
担い手育成		研修費補助、家賃補助など					■■■■■➡
耕作放棄地対策		給食米の耕作、保安全管理など					■■■■■➡

●潮彩エリア活性化プロジェクト

潮彩エリアに、水産市場・青果市場・潮彩市場が一体となった、一次産業の拠点を整備します。



項目	R3~R7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	R 13
水産市場の再整備（山口県漁協）	完了 ➡	R 4 完了					
青果市場の移転	検討 ➡	設計・工事				供用開始	

元氣な防府を目指し、次に掲げる4つのプロジェクトにチャレンジ～

●野島活性化プロジェクト

野島を舞台に、茜島シーサイドスクールの魅力向上を図り、こどもから高齢者まで多世代が交流できる元氣な島づくりを進めます。



項 目	R3～R7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	R 13
茜島シーサイドスクールの魅力向上	全県化募集	児童・生徒の受入対象全県化、バス送迎、宿泊学習環境整備					■■■■■▶
地域交流イベントの実施		交流イベントの更なる充実（定期開催）					■■■■■▶
地域資源を活かした環境整備（港、道路周辺など）		設計・整備					■■■■■▶
地域交流拠点の整備・公共施設の集約化の検討		検討・整備					■■■■■▶

●表参道にぎわいプロジェクト

本市が誇る防府天満宮につながる市道天神町協和線のアーケード撤去、舗装整備、景観整備など、表参道のにぎわいにつなげます。



項 目	R3～R7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	R 13
市道天神町協和線の整備	設計	アーケード撤去・工事				整備完了	■■■■■▶
景観等の整備		検討・整備					■■■■■▶

目標指標一覧

重要目標達成指標（KGI）	現状値		令和12年度 目標値
	数値	年度	
社会増の継続（累計）			プラス転入人口の維持
人口減少率の縮小	-3.18%	R2～R7	国より緩やかな人口減少率
重要業績評価指標（KPI）	現状値		令和12年度 目標値
	数値	年度	
1 安全・安心を第一にしたまちづくり			
河川の浚せつ進捗率	100%	R7	維持
上水道基幹管路の耐震化率	43.7%	R6	50.5%
污水管渠の耐震構造管布設率	57.2%	R6	61.6%
「こども防災士」の養成数（累計）	41人	R6～R7	150人
2 未来を拓くこどもの育成			
合計特殊出生率	1.32	R6	国・県以上
「安心して子どもを生み育てられる支援が充実している」と感じる市民の割合	63.4%	R5	100%
「給食が楽しみ」と思う児童生徒の割合	—	—	100%
3 健やかな暮らしを支える福祉のまちづくり			
「高齢者ボランティア」登録人数	—	—	100人
農福連携のマッチング件数	17件	R6	30件
路線バス利用者数	1,032千人	R6	維持
1人1日当たりのごみ焼却量	661 g	R6	580 g
4 活力ある中心市街地の形成			
中心市街地の居住人口	5,486人	R6	5,600人
5 強みを活かした産業力の強化			
農林漁業新規就業者数（累計）	16人	R3～R6	25人
道の駅潮彩市場防府の来客者数	790千人	R6	850千人
新規創業者件数（累計）	232人	R3～R6	310人
製造業従業者数	14,137人	R5	15,000人
6 恵まれた資源を活かした交流拡大			
観光客数	2,590千人	R6	3,000千人
スポーツ施設利用者数	525千人	R6	600千人
文化施設利用者数	235千人	R6	300千人

指標の説明
計画期間中の人口社会増とする
国よりも緩やかな人口減少率とする（国：R2～R7－2.29％）
指標の説明
市管理河川における ^{しゅん} 浚せつが完了した河川数の割合
基幹管路（重要度が高い管路である導水管、送水管、Φ350mm以上の配水管）における耐震管の割合
污水管渠における耐震構造管の割合
計画期間中に「こども防災士」として認定された者の累計数（小学生4年～6年生を対象）
1人の女性が一生の間に産むこどもの人数（15～49歳女性人口とその年の出生数により算出）
子育て支援に関する子育て世代の市民満足度
小・中学校の給食アンケート調査の「給食が楽しみ」と回答した児童生徒の割合
「高齢者ボランティア」として登録された人数
農作業委託料補助金の年間申請件数
路線バスの年間利用者数
年間の焼却量を人口及びその年度の日数で割った量
各年10月1日時点の防府市の中心市街地の居住人口(住民基本台帳)
計画期間中に新規に農林水産業に就業した者の累計数
道の駅潮彩市場防府への年間来客者数
計画期間中に新規に創業した者の累計数
製造業に従事している従業者数
市内の観光施設などを訪れた年間（1月～12月）観光客数
市内のスポーツ施設（ソルトアリーナ防府、武道館（武道場・弓道場）、野球場、陸上競技場、運動広場、人工芝多目的グラウンド、プール、向島運動公園テニスコート、向島運動公園多目的広場）の年間利用者数
市内の文化施設（公会堂、アスピラート、ソラルール、山頭火ふるさと館）の年間利用者数

第3章 分野別施策

1 安全・環境

項目	小項目
(1) 防災対策の推進	① 防災危機管理体制の充実強化 ② 地域防災力の向上 ③ 治山・治水対策と国土情報基盤の充実
(2) 消防力の向上	① 火災の予防 ② 消防・救急体制の充実強化 ③ 消防施設の整備・適正運用 ④ 消防団の活性化
(3) 暮らしの安全確保	① 交通安全の推進 ② 防犯対策の推進 ③ 消費者安全の推進
(4) 環境の保全	① 環境保全対策の充実 ② 地球温暖化対策の推進 ③ 自然保護対策の推進 ④ 環境衛生の推進
(5) 循環型社会の形成	① 3Rの推進 ② 廃棄物の適正処理の推進

2 健康・福祉

項目	小項目
(1) 保健・医療サービスの充実	① 健康づくりの推進 ② 疾病予防の推進 ③ 保健指導の充実 ④ 医療体制の充実
(2) 地域福祉の充実	① 地域福祉を支えるひとづくり ② 地域福祉を推進するための環境づくり ③ 誰もが安心して暮らせるしくみづくり
(3) 子育て支援の充実	① 子育て支援サービス等の充実 ② 保育サービスの充実 ③ 要保護児童対策の推進
(4) 高齢者福祉の充実	① 介護等サービスの充実 ② 地域包括ケアシステムの推進 ③ 生涯現役社会の実現
(5) 障害者福祉の充実	① 障害理解を深め共に生きる社会の実現 ② 地域生活の支援 ③ 社会参加の促進
(6) 社会保障制度の適正な運用	① 低所得者福祉の充実 ② 国民健康保険事業の適正な運営 ③ 後期高齢者医療制度の着実な運用 ④ 国民年金制度の周知

3 教育・社会

項目	小項目
(1) 学校教育の充実	① 幼児期における取組の充実 ② 小・中学校教育の質の向上 ③ 小・中学校施設の整備 ④ 修学支援の充実
(2) 生涯学習の推進	① 生涯学習の充実 ② 社会教育施設の充実 ③ 青少年の健全育成
(3) 人権尊重社会の実現	① 豊かな人権感覚の育成 ② 男女共同参画社会づくりの推進
(4) 文化財の保護・継承	① 文化財の保存・整備 ② 文化財の継承・活用

4 産業・労働

項目	小項目
(1) 農林水産業の振興	① 担い手の確保・育成 ② 農林水産物の需要拡大 ③ 経営基盤の強化 ④ 生産基盤の整備
(2) 商工業・サービス業の振興	① 企業・事業誘致及び投資の促進 ② 物流機能の充実 ③ まちなかの活性化
(3) 中小企業の振興	① 創業の支援 ② 中小企業の成長支援 ③ 人材の確保・定着支援
(4) 労働環境の向上	① 誰もが働きやすい環境づくり ② 勤労者福祉の向上 ③ 雇用の安定

5 地域・交流

項目	小項目
(1) 観光の振興	① 効果的な情報発信 ② 受入環境の整備 ③ おもてなしの充実
(2) スポーツ・文化の推進	① スポーツ・文化活動の推進 ② 人材の育成・団体の支援 ③ スポーツ・文化環境の充実 ④ スポーツ・文化を通じた交流拡大
(3) 多様な交流の推進	① 姉妹都市等との交流の推進 ② 多文化共生社会づくりの推進 ③ 移住・定住の促進 ④ 戦略的な情報発信
(4) 自主的・主体的な市民活動の促進	① 自治会等地域活動の支援 ② 市民活動の促進



6 都市・建設

項目	小項目
(1) 交通ネットワークの整備	① 道路の整備 ② 港湾施設の整備促進 ③ 持続可能な公共交通の構築 ④ 離島航路の確保
(2) 上下水道の整備	① 上下水道の整備 ② 上下水道施設の維持・強化 ③ 運営基盤の強化とお客サービス向上
(3) 住宅・住環境の整備	① 住環境の向上 ② 良質な公営住宅の提供 ③ 空き家対策の充実
(4) 公園の整備、景観の保全	① 公園・緑地の整備・保全 ② 緑化の推進 ③ 景観保全意識の醸成
(5) 適正な土地利用の推進	—

持続可能な行財政運営（行政経営改革）

- （１）財政基盤の確立
- （２）行政のデジタル化の推進
- （３）自治会や周辺自治体等との連携の推進
- （４）人材育成・組織力の向上



（１）財政基盤の確立

〈 方針 〉

総合計画に掲げる施策を着実に実施する中でも、財政調整基金*1 の残高 25 億円以上の確保に加え、実質公債費比率*2、将来負担比率*3 にも目標を掲げ、健全な財政運営に取り組みます。

① 財源の確保

国・県の補助金の確保や保有財産の活用など、財源の確保に取り組みます。

② 歳出の適正化

事務事業の見直しを進めるなど、歳出の適正化を図ります。

③ 税源涵養^{かんよう}の促進

将来的に安定的な税財源の確保につながる施策に取り組みます。

財政健全の維持

第5次総合計画においては、計画に掲げる施策を着実に実施し、災害など不測の事態に備える必要があることから、財政調整基金の残高 20 億円以上を目標に掲げました。

「まちづくり」を進める中、市町村役場機能緊急保全事業債や緊急浚渫推進事業債など、交付税措置率の高い地方債の積極的な活用などにより目標を達成し、健全な財政状況を維持できました。

第6次総合計画では、計画に掲げる施策を着実に実施し、また、災害などの不測の事態への備えに加え、近年の物価高騰などに対応するため、財政調整基金の残高 25 億円以上を目標に掲げます。

併せて、積極的な「まちづくり」への投資を進める中で、将来の財政運営に大きな影響を与えないよう、財政健全化の指標である実質公債費比率を令和6年度県内平均の 6.8%未満に、また、それを達成するため、将来負担比率を 70.0%未満に抑え、健全な財政を維持します。

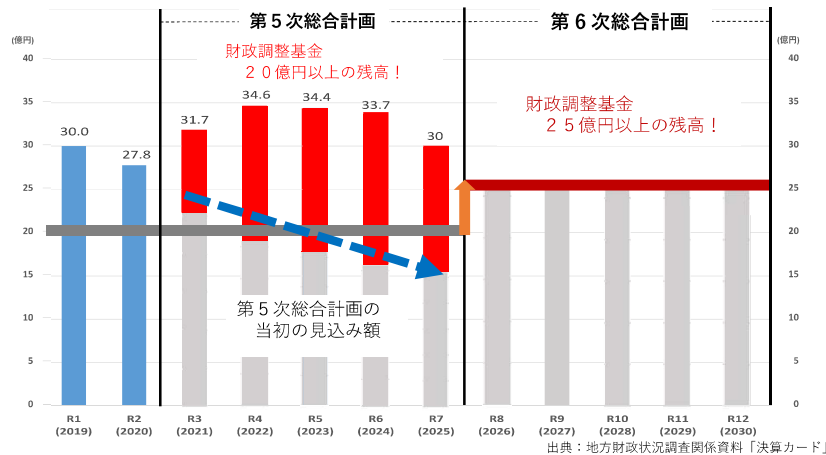
- | | |
|--------|-----------------------|
| 〈 目標 〉 | ・ 財政調整基金の残高 25 億円以上 |
| | ・ 実質公債費比率 6.8%未満 |
| | ・ 将来負担比率 70.0%未満 |

*1 財政調整基金 災害の発生などによる予測できない支出や年度間における財源の調整をするための基金

*2 実質公債費比率 借入金（地方債）の返済額（公債費）の大きさを、財政規模に対する割合で表したものの。国の定めた早期健全化基準 2.5%を超えると、財政健全化計画を策定し、財政の健全化を図らなければならない。

*3 将来負担比率 借入金（地方債）など現在抱えている負債の大きさを、財政規模に対する割合で表したものの。国の定めた早期健全化基準 35.0%を超えると、財政健全化計画を策定し、財政の健全化を図らなければならない。

貯金（財政調整基金）残高の推移



（２）行政のデジタル化の推進

〈 方針 〉

新庁舎に整備したデジタル環境を活かし、窓口業務や行政事務の効率化を推進し、市民サービスの向上につなげます。

① 行政手続の利便性向上

オンライン手続の充実や公金納付の実施など、市民の利便性向上につなげます。

② 行政事務の効率化の推進

定型業務の自動化（RPA）*1 などにより、行政業務の効率化を図ります。

（３）自治会や周辺自治体等との連携の推進

〈 方針 〉

地域、事業者、各種団体など様々な主体と協働し、地域づくりを推進します。

また、様々な分野において、県や他の自治体、関係団体と連携し、互いの強みを活かした取組を推進します。

① 自治会、周辺自治体、企業、大学などとの連携

自治会、県、周辺自治体、民間企業、大学などと連携し、地域づくりを進めるとともに、市民サービスの充実を図ります。

（４）人材育成・組織力の向上

〈 方針 〉

防府のまちを更に発展させ、時代のニーズに即した市民サービスを展開していくため、人材育成・組織力の向上に取り組めます。

① 職員力の向上

幅広い視野を持ち、行政課題の解決に向けて自ら考え、市民サービスにしっかりと対応できる職員を育成します。

② 組織力の向上

行政ニーズに応じた組織体制の見直しや職員配置に努めるとともに、誰もが健康で働きやすい職場づくりを進めることで、組織力の向上を図ります。